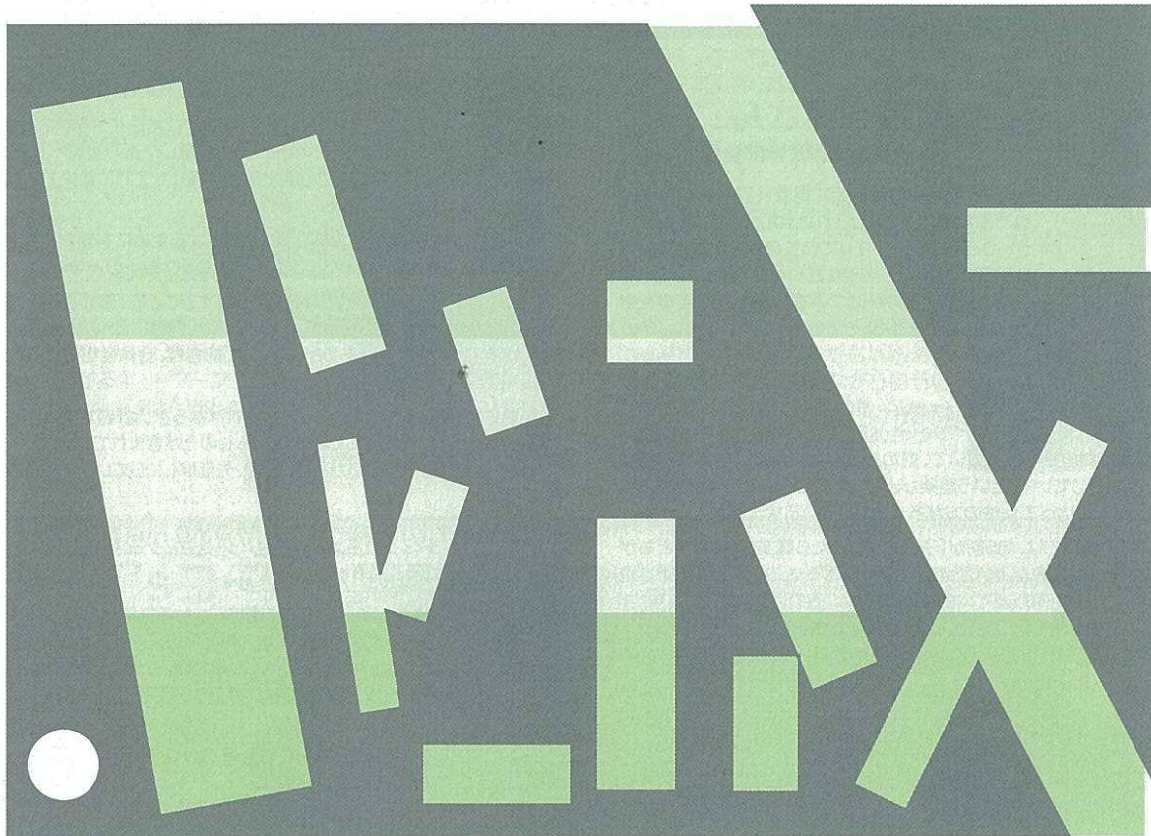


鹿児島県
男女共同参画センター
だより



2013.9 
vol. 25

特集
「第2次鹿児島県男女共同参画基本計画」
センター事業から
グループ紹介
センターサポーター'Sコーナー
相談室から
インフォメーション

第2次 鹿児島県男女共同参画基本計画

県では、男女共同参画社会の実現に向けて、これまで、第1次男女共同参画基本計画に基づき、様々な取組を進めてきましたが、このたび、同計画の成果と課題を踏まえ、鹿児島県における男女共同参画社会の形成がさらに促進されるよう、平成25～29年度の5年間を計画期間とする「第2次鹿児島県男女共同参画基本計画」を策定しました。

男女共同参画社会の実現には、様々な立場からの推進が欠かせないため、県民の皆様の理解と協力が必要です。

今年度は、当計画のスタートの年として、様々な機会を捉えて県民の皆様に計画の趣旨を広く周知していくこととしています。

まず、男女共同参画週間、男女共同参画社会についての正しい理解を深めるために、男女共同参画を自分の生き方や生活に引きつけて考えるイベントを民間団体ピア・スタディングと協働で実施し、その後リレーセミナーとして、県内9カ所で講演会などを開催することとしています。

また、子どもの頃から男女共同参画への理解を深め

ることが大変重要であるため、教育現場における取組を推進する「子どもたちの男女共同参画学びの広場事業」を今年度から新規に実施することとしています。

今回の特集では、男女共同参画週間事業の内容を中心にお伝えします。

県のHPから当計画全体もご覧いただけます。

<http://www.pref.kagoshima.jp>

サイト内検索

基調講演 第2次基本計画のつくりと役割



講師：武隈 晃さん

(鹿児島大学教育学部長)

第2次基本計画の策定に男女共同参画審議会の専門部会長として関わられた武隈先生に、計画がどういうしくみで成り立っているのか、その特徴と男女共同参画社会の実現にどんな役割を果たす可能性を持っているのかについて、大変分かりやすくお話しいただきました。その要旨を紹介します。

県の意識調査から見る鹿児島の特徴

- 地域における鹿児島の男女の平等感について、県の意識調査によると約7割が「男性の方が優遇されていると感じている」という結果が出ているにもかかわらず、地域における様々な活動へは、男性に比べて女性の方が多く参加している状況です。
- 女性の働き方についての質問では、約5割が「子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい」と答え、「子どもができてずっと職業を続ける方がよい」は約3割という結果が出ています。全国では、その逆で前者の一時中断型が3割、半数近くは、後者の継続型を指示しているという結果です。こういった本県の特徴は、それらを踏まえた目標や施策を通して、計画に反映されています。

第2次基本計画の基本目標に込めた思い

- 基本目標は、計画の目的である「男女共同参画社会の実現」を達成するために、具体的にどんな社会づくりを目指すのかを明確にしています。

【基本目標】

一人ひとりの人権が尊重され

- 多様な生き方が選択でき、個性や能力が発揮できる社会づくり
- 誰もが安心して暮らすことができる社会づくり

- 当計画は、男女共同参画社会の実現に向けての最も重要な基本価値は、「一人ひとりの人権の尊重である」ということを特に強調し、この立場で形づくられています。(図1参照)



男女共同参画週間事業のオープニングに出水市立大川内中学校の全校生徒4人が合唱してくれました。

【戦略的取組】の設定と基本計画としての役割

- 第2次基本計画には、重点的、集中的、横断的に推進すべき6つの取組を「戦略的取組」として位置づけていますが、このことにより、急いで取り組むべき「緊要の課題」を共有でき、そのために必要な資源(人、物、資金、情報)をそれに集中できるという大きなメリットがあります。(図2参照)
- そして、計画の評価の際には、目的を達成するために有効な取組が整理され、必要な資源がきちんと手当てされているかが大変重要な視点の一つとなります。
- さらに、重要な点は「戦略的取組」を設定することで、部局ごとの縦割りの仕事では対応が難しい課題の存在を認識することができ、同様に、他の様々な課題へも横断的な取組が推進される可能性があるという点は、総合性、全体性を有する基本計画である当計画に、期待される役割であると言えます。
- 「戦略的取組」は、すぐに取り組みなければならない課題ですが、その中には、すぐに成果が得られるものと世代を超えて成果が出るもののが含まれています。成果がすぐに得られないからといって、先延ばしにしたいということではありません。

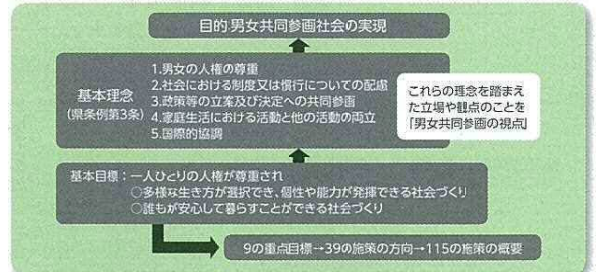
【一人ひとりの人権の尊重】の視座から捉える複合的な生活課題への対応

- 当計画には、男女共同参画の推進に直接かかわる施策とそうでない施策があります。前者は、ゲームで言えば直接チェックメイトできるチェス型の施策であり、後者はその施策、本来の目的を持った施策で、多くの取組(カルタ)の中から男女共同参画の推進に結びつくものを探し出し、整理して男女共同参画の視点から再編していく作業が必要となるカルタ型の施策と言えます。
- このような作業の積み重ねが、この計画のつくり構造を成しています。このようなつくりによって、これまで縦割りで落とし込んでいた仕事に「男女共同参画の視点」の横串を通し、生活者の側から生活レベルで行政課題を捉え直すことで、縦割りでない県民一人ひとりが抱える複合的な課題への対応が可能になるという役割を担っています。

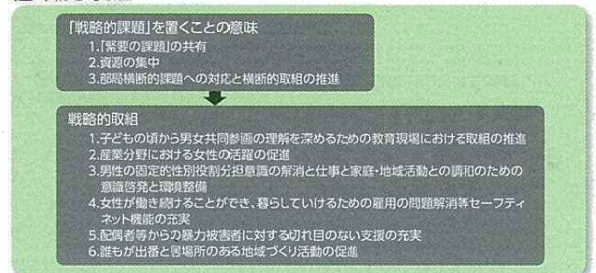
世代を超えて「希望のバトン」をつないでいく

男女共同参画社会の実現には、教育が非常に重要な役割を果たすため、当計画では子どもの頃からの教育現場での取組を「戦略的取組」の一番に掲げていますが、このような取組は、成果がすぐに出るわけではありません。成果が出るまで、男女共同参画基本計画…希望のバトンを世代を超えて引き継いでいかなければなりません。

(図1) 基本理念と基本目標



(図2) 戦略的取組



武隈先生の講演資料より

DV相談業務研修会

6/4

DV被害者支援に関わる相談員等を対象とした研修会を開催し、石本宗子さん(久留米市男女平等推進センター)を講師に、DV被害者支援に必要な知識を習得し、ワークショップを通して相談対応や二次被害防止について学び、大変充実した研修会となりました。



男女共同参画基礎講座

6/16, 6/23, 7/6, 7/13

センターオープン当初から開催している人気講座には、今年も100人を超える応募がありました。たもつゆかりさん、高崎恵さんを講師に、第2次鹿児島県男女共同参画基本計画を柱とした男女共同参画の基礎知識や、身近なところで男女共同参画の理解を広めるためのスキルを学びました。最終日の講座終了後、受講者の交流会を実施し、和やかな雰囲気の中、緩やかに繋がるネットワークをつくりたいという声があがりました。



学校への男女共同参画お届けセミナー

7/9

前期は、男女共同参画に関するセミナーに、県立若川高等学校へ講師を派遣しました。今後の実施予定は、次のとおりです。
(今後の予定)
9月17日 県立高山高等学校
9月18日 県立加世田高等学校
9月20日 県立野田女子高等学校
10月18日 県立与論高等学校
11月8日 県立指宿養護学校
12月11日 県立鹿児島中央高等学校
12月13日 県立山川高等学校
1月10日 県立種子島中央高等学校
1月23日 県立鹿屋工業高等学校



小学生対象絵本づくりワークショップ

7/28

わたしがつくる わたしのはなし

~まっさらが きみをまつる!!~

週間事業の子ども向けワークショップで今年も絵本づくりに挑戦しました。ファンリーダーの高崎恵さんのリードで子どもたちは初めて会う友達と協力しながら自分の絵本を作りました。活動の後半は、一人ひとりの思いや良さを認め合う素晴らしい発表会となりました。



サポーターズ'sコーナー

4月20日(土)に今年度のサポーター委嘱式がありました。今回委嘱を更新されたのは、センターサポーター3人と託児サポーター13人の合計16人です。センターサポーターは事業運営をサポートしたり、センターの情報を発信したりします。託児サポーターは、託児サービスの事業で事業実施の補助があった子どもを安全に見守ります。そのおかげで、センター事業が一層充実したものとします。よろしくお願いします!!



センターサポーターの皆さん



託児サポーターの皆さん

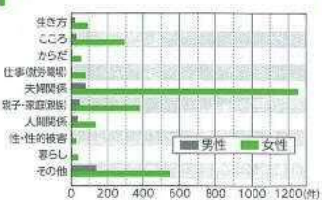
相談室から

2012年度の相談の状況

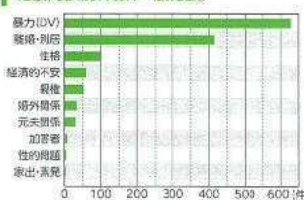
相談件数は、一般相談1,643件(電話1,409件、面接234件)、専門相談64件の計1,707件で、前年度に比し5割超の増加でした。相談件数の84%が女性からでしたが、男性からは、前年度の2倍超の相談がありました。相談者の年代別では、30代が最も多く、次いで40代、50代の順でした。

また、どの年代でも「ドメスティック・バイオレンス(DV)」及び「離婚・別居」に関する相談が多く、特にDVについては一般相談全体の4割に及ぶ625件で、昨年度に引き続き最も多い相談内容でした。中でも、20代からの相談は前年度の2倍を超えました。

相談内容件数(一般相談)



「夫婦関係の問題」における相談内訳別件数(一般相談)



一般相談

【電話相談】099-221-6630-6631
(受付時間)水~日曜日/9:00~17:00
火曜日・休館日翌日/9:00~20:00
(休館日)月曜日(祝日の場合は翌日)

【面接相談】事前に予約が必要

専門相談

※すべて事前に予約が必要
【法律相談】第1・3火曜日(面接)
【メンタルヘルス相談】第3木曜日(面接)
【男性相談】原則第2土曜日(面接・電話)
(男性相談員による男性のための相談)

びあ・すてーしょん

鹿児島大学医学部保健学科サークル「ピア☆びあ☆ごしま」が、若者の男女交際の悩みやデートDV、性感染症等についての相談に応じています。

日時 毎月第3土曜日 14:00~16:00
場所 かごしま県民交流センター
1階ミーティングルーム

女性に対する暴力をなくす運動 期間(11/12~11/25)

●街頭キャンペーン ☆
【期日/場所】11月12日(火) 鹿児島中央駅前
【実施団体】国際ソロプチミスト鹿児島県民間団体・関係機関

●アミュラン点灯
【期日】11月12日(火)と25日(月)

●女性のための法律110番(弁護士による電話相談対応)
【日時】11月19日(火)10:00~16:00
【予約先】099-221-6630(事前の予約が必要)

●パネル展
【期日/場所】11月12日(火)~24日(日) かごしま県民交流センター
11月18日(木)~25日(月) 県庁展望ロビー

●暴力被害者支援セミナー
【日時】11月22日(金)10:00~15:30
【内容】DVや性犯罪被害者相談に必要なスキルを磨くための研修会
【講師】竹下 小夜子さん(精神科医)
【内容】「DV・性犯罪の本質と求められる被害者支援」

デートDV防止セミナー

【日時/場所】11月20日(水)13:00~16:30 鹿児島市吉田公民館
【内容】デートDV防止について地域住民を対象に講話やワークショップを実施
【実施団体】鹿児島純心女子大学 学生サークル S&I

心が折れそうなビジネスマンガを読む本
新しい本が図書コーナーに入りました。その中から2冊を紹介いたします。ホースト・シジに転載中です。
ビジネスは「しなやかに、おだやかに、したたかに」進める姿勢が大切。仕事をしっかりこなしながら、ライフワークも充実させる。リストラ圧力、起業・失敗、離婚、うつ...そこからライターや講師としての道を確立、社納な著者自身の体験が多くて面白く読める一冊。
中森勇人 著 吉岡俊介 監修
ソフトバンク観書(2010年5月)

●50代・60代*「男性のスターティング・ノート」12/14(土)に同窓会開催!
【日時】11月30日(土)13:00~16:30
【内容】これまでの人生を振り返り、定年後の人生をより豊かに自分らしく生きるための気づきと一歩を踏み出すきっかけとなるセミナー
【講師】吉岡 俊介さん(シニア産業カウンセラー/キャリア・コンサルタント)

●高校生のためのピアサポーター養成講座
【日時】12月15日(日)10:00~16:00
【内容】悩みや問題を抱える同年代をサポートできる高校生を養成するため、ワークショップで楽しく学ぶ講座です。
【実施団体】鹿児島大学医学部保健学科サークル「ピア☆びあ☆ごしま」

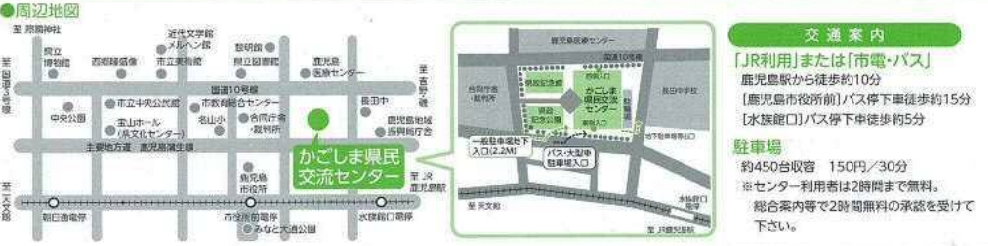
●ダイバーシティ・マネジメントセミナー
~多様性と多面性を活かす経営戦略~
【日時】1月30日(木)13:00~17:30
【内容】事業主や人事・労務管理担当者等を対象に企業における男女共同参画の取組の必要性、経営戦略としての意義などについて、理解を深めるためのセミナー
【講師】滝美 由香さん
(株式会社経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス 研究部長)

●女性のエンパワメントセミナー
【日時】2月6日(木)・13日(木)・21日(金) いずれも10:00~13:00
3月1日(土) 13:00~16:00 公開講座
【内容】出産・子育て中に就業を中断せざるを得なかった女性や就業継続に困難を感じている女性(概ね20代~30代)を対象に、就業の継続やエンパワメントを促進するためのセミナー
【実施団体】有限会社ティ・エヌ・ティ

LEAN IN
一女性、仕事、リーダーへの意欲
社会生活に大きな影響を与える決定において、女性の声や平等に反映されにくい状況が続いているアメリカ。この問題は、日本でも顕著。女性リーダーが生まれにくい原因はどこにあるのか?FACEBOOKの最高執行責任者が書いた全米大ベストセラーの話題作。
サントバーク・シェリル 著
日本経済新聞出版社(2013年6月)

情報提供・交流サロンのご案内
(男女共同参画センター関連)
【図書等の閲覧・貸出】
男女共同参画に関する図書は、1人5冊までで期間は3週間以内です。団体等へはビデオ、DVDの貸出も行っています。

【ミーティングルーム】
男女共同参画に関する学習会等にご利用いただけます。
(利用時間)9:00~17:00
(休館日)月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日



鹿児島県男女共同参画センター
(かごしま県民交流センター内) 〒892-0816 鹿児島市山下町14-50
●「男女共同参画センターだより」の掲載記事(バックナンバーを含む)も、ホームページにも掲載しています。
TEL 099-221-6603
FAX 099-221-6640
電子メール harmony@kagoshima-pac.jp
ホームページ http://www.kagoshima-pac.jp